

別添資料

〔名称〕寿高原食品四階倉庫

〔特徴等〕戸倉駅前に建つ桁行29m、梁間11m、土蔵造の大規模倉庫。3階までは中央2間毎に6寸柱を立て大梁で固め、4階は柱を立てず大空間が広がっている。小屋組みはキングポストトラス方式。方杖付の庇を持つ窓を1間置きに開く多窓式の外観で、地域の景観に大きく寄与している。戸倉倉庫株式会社が商品倉庫として建築した建物である。

〔種別〕建築物 産業3次

〔登録基準〕(1) 国土の歴史的景観に寄与しているもの



寿高原食品四階倉庫 東面外観



寿高原食品四階倉庫 内部

〔名称〕瀧澤家住宅主屋

〔特徴等〕敷地の中央に西面している主屋。桁行12間、梁間6間半、寄棟造茅葺の建物。南半分は土間と旧馬屋であり、土間と床上部分の境は、1間毎に柱を立て大黒柱もなく古式を示している。居間の間口に1尺の伸びがある点など、近世における当地域の特徴をよく留める大型民家として大変貴重な建物である。

〔種別〕建築物 住宅

〔登録基準〕(2) 造形の規範となっているもの



瀧澤家住宅主屋(奥)と長屋門



瀧澤家住宅主屋 座敷

〔名称〕 瀧澤家住宅土蔵

〔特徴等〕 主屋の北に南面している土蔵。桁行 9.1m、梁間 4.6m の 2 階建、切妻造、置屋根形式で南面に下屋庇が設けられている。南面に 2 所の扉口を持ち、2 階西面に一所窓が設置されており、いずれも鳥居枠で飾られている。主屋と一体となり農家の屋敷構えを良好に残している。

〔種別〕 建築物 住宅

〔登録基準〕 (1) 国土の歴史的景観に寄与しているもの



瀧澤家住宅土蔵
正面外観



瀧澤家住宅土蔵
扉金具部分

〔名称〕 瀧澤家住宅長屋門

〔特徴等〕 敷地の西面を区画する長屋門である。屋根は茅葺で、南側が寄棟造、北側が切妻造と違う形式を持っている。中央のやや南寄りに門口を開き、南に桁行 3 間の板敷物置、北に桁行 6 間の土間物置を配している。門口は、棧梁より上を塗込めており、非常に丁寧に造られている。主屋と共に茅葺の外観が、歴史的景観を形作っている。

〔種別〕 建築物 住宅

〔登録基準〕 (1) 国土の歴史的景観に寄与しているもの



瀧澤家住宅長屋門
正面外観



瀧澤家住宅長屋門
門口上部

【参考】 登録有形文化財登録基準

平成 8 年 8 月 30 日 文部省告示第 152 号
改正 平成 17 年 3 月 28 日 文部科学省告示第 44 号

建築物、土木構造物及びその他の工作物（重要文化財及び文化財保護法第 182 条第 2 項に規定する指定を地方公共団体が
行っているものを除く）のうち、原則として建設後 50 年を経過し、かつ、次の各号の一に該当するもの。

- (1) 国土の歴史的景観に寄与しているもの (2) 造形の規範となっているもの (3) 再現することが容易でないもの